



# Fellow's Report

令和5年

《4月号》

=ものづくりの仲間から=

## 令和5年3月公共工事設計労務単価について

国土交通省、農林水産省、都道府県、政令指定都市、NEXCO等の公共工事を対象として、公共事業従事者の賃金実態を調査する「公共事業労務費調査」の結果に基づき、国が公共工事の積算に用いる単価として決定・公表したもので、公社もこれを適用しております。

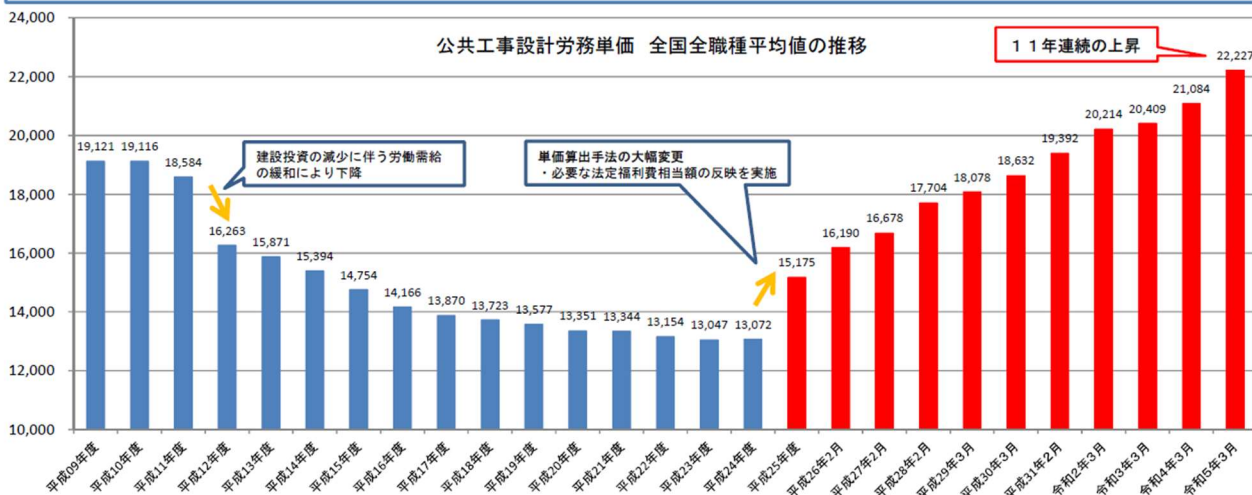
令和5年3月から適用される公共工事設計労務単価は、全国全職種単純平均で前年度比**5.2%**引き上げられました。公社で使用する主な職種について、令和4年3月から適用された公共工事設計労務単価と比較しました。（単価は神奈川県を採用）

職 種	令和4年3月～	令和5年3月～	差	上昇率
特殊作業員	25,900円	26,900円	1,000円	3.9%
普通作業員	22,300円	23,900円	1,600円	7.2%
とび工	28,000円	30,000円	2,000円	7.1%
電工	24,600円	26,500円	1,900円	7.7%
鉄筋工	26,400円	27,300円	900円	3.4%
塗装工	30,300円	31,300円	1,000円	3.3%
運転手（特殊）	26,300円	28,700円	2,400円	9.1%
運転手（一般）	22,500円	23,900円	1,400円	6.2%
型わく工	26,500円	27,300円	800円	3.0%
左官	27,400円	28,700円	1,300円	4.7%
配管工	22,900円	24,400円	1,500円	6.6%
はつり工	25,600円	27,300円	1,700円	6.6%
防水工	27,800円	30,000円	2,200円	7.9%
サッシ工	26,300円	28,500円	2,200円	8.4%
内装工	28,500円	30,200円	1,700円	6.0%
ガラス工	26,400円	28,600円	2,200円	8.3%
建具工	24,300円	24,600円	300円	1.2%
ダクト工	23,000円	25,000円	2,000円	8.7%
保温工	23,100円	25,100円	2,000円	8.7%
設備機械工	23,300円	25,400円	2,100円	9.0%
交通誘導警備員A	16,300円	17,800円	1,500円	9.2%
交通誘導警備員B	14,200円	15,500円	1,300円	9.2%

### 【単価設定のポイント】

- (1)最近の労働市場の**実勢価格を適切・迅速に反映**し、47都道府県・51職種別に単価を設定
- (2)**必要な法定福利費相当額や義務化分の有給休暇取得に要する費用**のほか、**時間外労働時間を短縮するために必要な費用**を反映
- (3)**元請企業から技能者に対して直接支給している手当**を反映  
(下請企業を経由する手当は従前より反映)

○全国全職種の伸び率は9年ぶりに5%以上となり、単価の平均値は11年連続の上昇



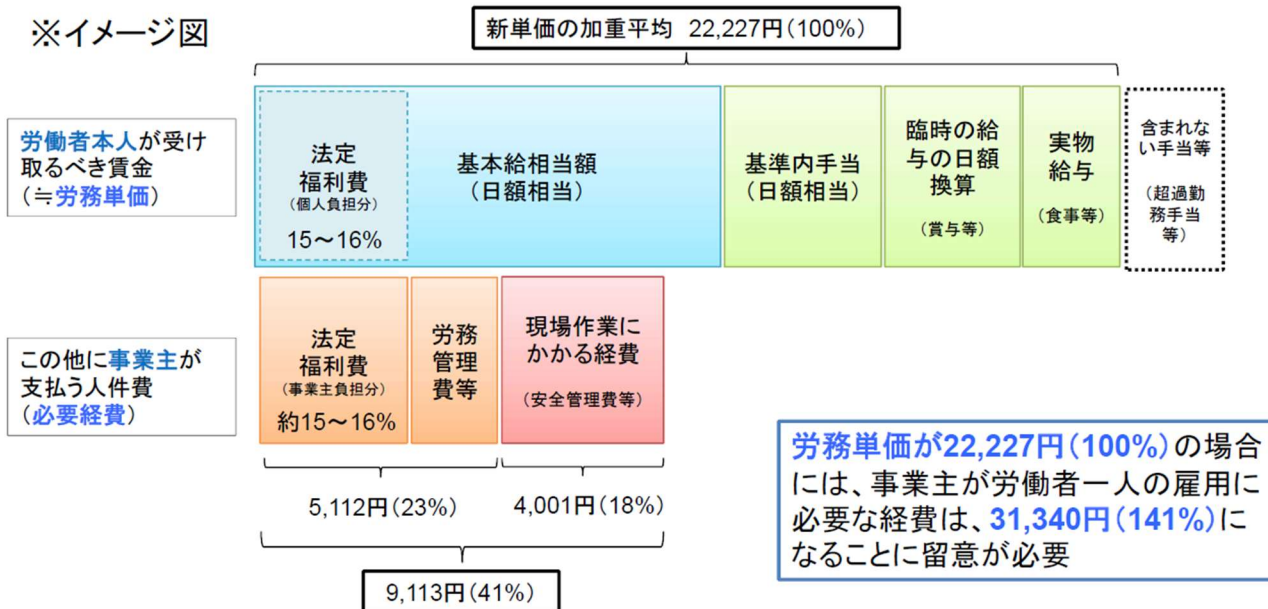
出典：国土交通省ホームページ

ホーム>報道・広報>報道発表資料>令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価についての報道発表資料「資料2」より抜粋（令和5年2月14日付）

「公共工事設計労務単価」と「雇用に伴う必要経費」の関係

- ・労働者本人が受け取るべき賃金を基に、日額換算値（所定内労働時間8時間）として労務単価設定 ⇒ 例えば、日給制の労働者が受け取る日当よりも広い概念。法定福利費も全額反映
- ・労務単価には、事業主が負担すべき必要経費（法定福利費、安全管理費等）は含まれていない。
- ・事業主が下請代金に必要経費分を計上しない、又は下請代金から必要経費を値引くことは不当行為となる

※イメージ図



出典：国土交通省ホームページ

ホーム>報道・広報>報道発表資料>令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価についての報道発表資料「資料3」より抜粋（令和5年2月14日付）

※積算上、「法定福利費+労務管理費等」は複合単価のその他率、「現場作業にかかる経費」は共通仮設費と現場管理費に含まれています。